



## hinotori™サージカルロボットシステムを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の診療実態の解析

2013年01月01日から2024年03月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて前立腺がんに対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘を受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「hinotori™サージカルロボットシステムを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の診療実態の解析」を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2013年01月01日から2024年03月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、前立腺がんに対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘を受けた患者さんの診療データやDPCデータを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：hinotori™サージカルロボットシステムを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の診療実態の解析  
研究期間：研究実施許可日～2028年12月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 泌尿器科 大学院教授 近藤 幸尋

### (2) 研究の意義、目的について

ロボット支援手術は、これまで米国製の「daVinci™サージカルシステム」(以下、daVinci)を使用して行われてきました。2021年に国内初の手術支援ロボットとして「hinotori™サージカルロボットシステム」(以下、hinotori)が登場しました。今後hinotoriを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の実績が増加すると考えられています。一方で、hinotoriを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の手術成績や医療の質(治療効果、安全性、医療費など)を評価した研究はまだほとんど存在しません。hinotoriを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の特徴を評価することにより、この手術方法を行うにあたり、問題点や課題を認識しながら治療法の工夫や患者さんへの詳細な説明が可能になります。hinotoriを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を行う上で、術式の特徴を理解することは、今後における医療の質向上につながると考えています。

### (3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類)

2013年01月01日から2024年03月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、前立腺がんに対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を受けた全ての患者さんの診療データ及びDPCデータを解析します。具体的には、hinotoriを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術手術による治療効果および医療の質の評価を行います。そのために対照となるdaVinciによるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術手術との比較を行います。それぞれの術式の治療成績や安全性(術後在院日数、在院転帰)及び医療費に対する関連因子の解析を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：DPCデータ【性別、年齢、BMI、併存症(高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患)、喫煙状況、ASA-PS(米国麻酔科学会による術前身体状態)、術前治療の有無、ステロイド使用の有無、抗血栓薬の使用の有無、血液学的検査：(白血球数、赤血球数、血小板数、白血球分画)、血液生化学検査：(AST、ALT、BUN、Cre、Na、K、Cl、 $\gamma$ GTP、ALP、LDH、TP、Alb、CRP)、手術関連データ：(術式、手術時間、術中出血量、尿量、輸血使用量、リンパ節郭清の有無)、転帰：(術後在院日数、集中治療室日数、輸血使用量、抗生剤使用量、術後30日の退院有無、生存の有無)、医療費：(入院期間における医療費)】

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。



**(5) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

**(6) 問い合わせ等の連絡先**

日本医科大学付属病院 泌尿器科 助教・医員 大林 康太郎

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25670

メールアドレス：kotaro-o@nms.ac.jp